

表題 日本全国、世界各国に広まるよさこい祭りを大学キャンパスで！「高知大学演舞場」

令和6年に創立75周年を迎える高知大学は、令和4年5月から令和6年11月までをアニバーサリー期間と位置づけ、高知大学創立75周年記念事業を実施しています。この記念事業の一つとして、“絆の構築”、“絆の躍動”を目的に掲げ、「よさこい祭り」の演舞場を、朝倉キャンパスに新たに設置しました。

よさこい祭りは、高知県発祥で日本全国、また世界各国(約30カ国)にも広がっている祭りです。演舞場が追加されるのは13年ぶりのことで、しかも大学キャンパスがよさこい祭りの会場となるのは初めてのことです。

よさこい祭り当日は、地域住民など1,800人以上が来場し、高知大学の学生チーム、卒業生中心のチーム、多国籍チームなど、全11チーム総勢約700人の踊り子による演舞が披露されました。踊り子と観覧者の気持ちが一つになり、みなさんに大いに喜んでいただくことができました。



高知大学演舞場特製うちわ▶

地域のイベントを通じた絆の再構築

多くの卒業生が在学時に親しんだよさこい祭りを大学キャンパスで実施することで、改めて卒業生が母校に集うきっかけに！

会場設置や運営費のために行ったクラウドファンディングでは、卒業生や地域住民など400名以上の方々から寄附を賜りました。



▲ クラウドファンディングページ(READYFOR)

世代を超えた交流

地域住民の方々に、SRU(地域を支え、地域を変えることができる大学)を目指す高知大学へ足を運んでいただくことで、大学をより身近に感じてもらう機会に！

老若男女問わず幅広い世代の方々に足を運んでいただき、新聞・テレビ等で多く取り上げられました。



▲ 演舞場の様子

地域文化の継承

昔ながらの地域のイベントを、教職員、大学生、卒業生、地域の高校生や住民が一体となって行うことで、地域文化の継承に貢献！

生徒や大学生が率先して会場準備を行い、ともに演舞場を盛り上げてくれました。



▲ 高知大学生がデザインし、附属特別支援学校の生徒が製造した、高知大学演舞場限定のオリジナル木製(スギ材)記念メダル

